2026/11/3
国際航路協会日本部会（PIANC-Japan）

PIANC-IAPH アジアセミナー2026 を開催

2026 年 10 月 23 日，国際航路協会日本部会（PIANC-Japan）は，IAPH（国際港湾協会）との共催による PIANC-IAPH アジアセミナー2026 を開催しました。

2021 年より開催しているアジアセミナーでは，これまでに沿岸防災，港湾施設の維持管理，航路埋没，軟弱地盤改良，環境再生など水上交通インフラに係る幅広い課題を取り上げてきました。

6 回目となる本セミナーでは，2001 年から PIANC と姉妹団体の関係にある IAPH との初めての共催で「港湾における脱炭素化」をテーマにウェビナー形式で開催，最新の知識や技術を共有するため，インド・インドネシア・日本の 3 ケ国の講師により，港湾管理者，実施港湾の評価機関，研究機関の立場から具体的な対策とその効果，エネルギーハブとしての港湾の新たな役割と施策の展開，取り組みの評価の視点や実施上の課題，ブルーカーボンの定量化や政策への反映など，幅広いトピックスについて講演が行われました。

開催にあたっては，国土交通省，水産庁，国際協力機構より後援をいただき，19 の国･地域から約 180 名の聴講者の参加がありました。うち海外からの参加者は約 70 名（インドネシア，インド，フィリピン，マレーシア，シンガポール，カンボジア，ベトナム，米国など）となり，国際的な技術情報の発信として大きな成果を上げました。

セミナー実施概要

日時 10 月 23 日（金）15:30～17:45

-共催機関（代表）挨拶

国際航路協会（PIANC）副会長 **栗山 善昭**
国際港湾協会（IPAH） 副会長 **元野 一生**


栗山 PIANC 副会長


元野 IAPH 副会長

-開会挨拶

国土交通省大臣官房技術参事官 森橋 真 氏



森橋 国交省技術参事官→

エステバン PIANC 会長↓

-PIANC 会長からのビデオメッセージ

PIANC 会長 フランシスコ･エステバン･レフラー氏



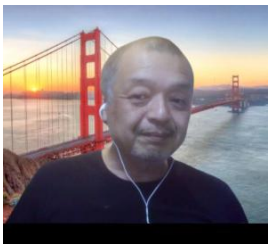
-講演セッション

モデレーター：PIANC 環境委員会(EnviCom)日本委員 中﨑 剛 氏
((一財)沿岸技術研究センター理事長)


中﨑 PIANC EnviCom 委員

神戸大学大学院海事科学研究科 杉村 佳寿 氏
演題「カーボンニュートラル実現に向けた港湾の気候変動対策」

- ●サプライチェーンにおける港湾の脱炭素化（その役割と競争力）
- ●港湾の気候変動対策，日本の CNP（カーボンニュートラルポート）施策
- ●博多港の事例（排出削減効果と経済性等）
- ●気候変動対策を支える港湾のガバナンスと施策･手段
- ●シンガポールのネットゼロへの取組み，港湾からの排出量に関する国際的な比較
- ●ブルーカーボン活用，港湾のカーボンニュートラル実現への道筋


杉村 神戸大学大学院教授

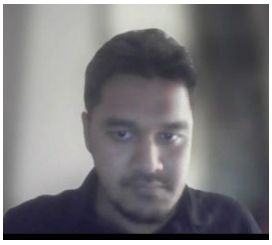
インド・ディーンダヤル港湾局(DPA) ニラブハラ・ダスグプタ氏
演題「グリーンな地平への舵取り：エネルギーハブとしての港湾の再定義–DPA の展望」

- ●海上交通分野の脱炭素化をめぐる国際動向
- ●エネルギーハブとしての港湾の新たな役割
- ●港湾の脱炭素化に向けた主要施策：陸電供給，代替燃料，荷役機械の電動化，デジタル化，ブルーカーボン
- ●世界の港湾におけるエネルギー転換の先進事例：欧米港湾，横浜港
- ●インドの政策体系とディーンダヤル港の GX 施策：水素拠点整備･メタノール燃料供給･港湾運営の脱炭素化等
- ●海上交通分野のネットゼロ実現に向けた国際連携


ダスグプタ DPA 副会長

(国営)インドネシア船級協会(BKI) ムハンマド・ライハン氏
演題「港湾の脱炭素化に関する評価–脱炭素化ギャップの克服（インドネシア港湾の事例)」

- ●インドネシアの港湾概況とグリーン･スマートポート評価の枠組み
- ●スマートポートのマネジメント：長期計画･環境へのコミットメント･社会的責任
- ●スマートポートの技術的対策：安全な運営･電動化･クリーンエネルギー
- ●スマートポートの運営効率化と排出削減に向けたデジタル化･自動化
- ●実施上の課題：投資･地域条件･規制･雇用への影響
- ●グリーン／スマートポートの取り組みの成果と国際的評価


ライハン BKI グリーン&スマートポート監査役

港湾空港技術研究所(PARI) 渡辺 謙太 氏
演題「カーボンニュートラルのためのブルーカーボン生態系の活用」

- ●ブルーカーボン生態系と気候変動緩和における役割
- ●沿岸生態系における炭素除去･貯留の経路
- ●ブルーカーボンの計測･定量化：生息場のマッピング･生物量･長期貯留
- ●日本の温室効果ガス･インベントリ，国の削減目標上のブルーカーボンの位置づけ
- ●ブルーインフラとカーボンニュートラルポート施策
- ●J ブルークレジットとブルーカーボン実装に向けた PIANC ガイドライン

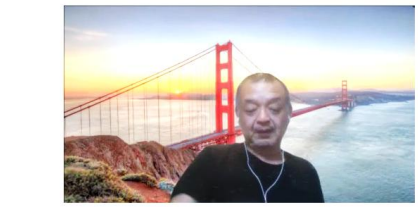

渡辺 PARI 上席研究官

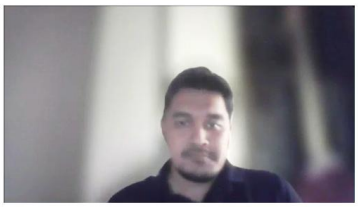
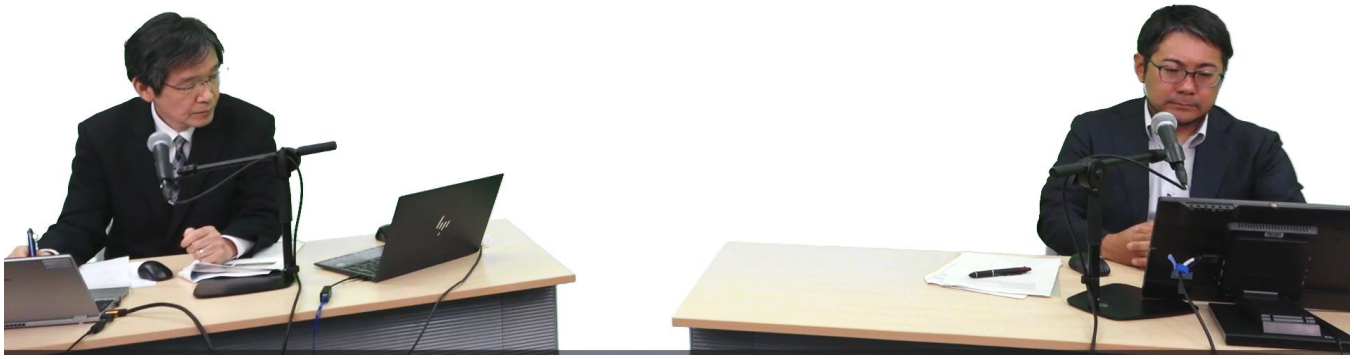
※各講師の講演資料は，後日，日本部会のホームページに掲載いたします。

-質疑応答セッション

全ての講演の終了後の質疑応答セッションでは，中﨑モデレーターのもとで，聴講者からの質問（ウェビナーのチャット経由で収集）に対する質疑応答を行いました。

※この質疑応答の一覧は，後日，日本部会の会員ページに掲載いたします。



-閉会挨拶

水産庁漁港漁場整備部事業課長　中村　克彦　氏

中村　水産庁事業課長→



企画準備及び当日の運営について

資料の作成準備から当日のご講演に至るまで貴重なお時間を割いていただいた 4 名の講師の皆さまに深く感謝いたします。

また，セミナーの企画準備･運営にあたり，国土交通省港湾局，水産庁漁港漁場整備部，JICA などの後援機関の関係者のみなさま，IAPH，PIANC-Japan の関係者の方々，特にボランティアでお手伝いいただいたセミナー･スタッフのみなさま（国土総合技術政策研究所，港湾空港技術研究所等のメンバー）には大変お世話になりました。ここに厚くお礼申し上げます。